

# Murayama.Honda Dream.RT

## 2022年MFJ全日本ロードレース選手権

### ●第1戦 4/2(土)-3(日)

### 開催場所:モビリティリゾートもてぎ(栃木県)



いよいよ始まった2022年のMFJ全日本ロードレース選手権。JSB1000クラスには秋吉耕佑選手がフルエントリーし、第1戦は鈴鹿8時間耐久ロードレースでチームメイトとなる今野選手がスポット参戦。第2戦は出口選手がスポット参戦する。

第1戦の舞台は今年から名称を変更した「モビリティリゾートもてぎ」(旧ツインリンクもてぎ)。

秋吉選手は過去JSB1000クラスで25回のポールポジションを獲得し、2010、2011年には年間チャンピオンに輝くなど実績十分。2022年の鈴鹿8時間耐久レースに参戦する出口修選手、今野由寛選手も経験豊富で、ベテランライダーがトリオを組む陣容だ。CBR1000RR-Rは昨年型だが信頼性の部分ではニューマシンを

投入するよりリスクが少なく、今年は鈴鹿8耐に向けてマシンのセッティングなどを煮詰めていく作戦だ。

公式予選前の練習走行でも2台のCBR1000RR-Rは着実に周回数を重ね、データの取得やスプリントレースのセッティングを詰めていった。そして、迎えた土曜日の公式予選当日。なんと予選2周目に秋吉選手はブレーキトラブルのために転倒。足の脛部分を亀裂骨折する重傷で、残念ながら本線への参加は見送られた。スポット参戦の今野選手は13番手の予選タイムで決勝に進んだ。今野選手は今年初めてCBR1000RR-Rを走らせることもあってマシンになれることが優先されていたが、エースの秋吉選手が離脱したことで結果の求められるレースとなった。

レースは土曜日のレース1、翌日曜日にレース2が行われる2ラウンド制。

レース1では、13番手からスタートした今野選手は1周目に2台をかわし11番手に上がったが、なかなかペースが上げられず、予選と同じく13位でフィニッシュ。日曜日のレース2ではスタート前に降雨があるなど微妙な天候の中、今野選手は上位に食い込む賭けに出た。トップグループはタイヤを変えてグリップの高いスリックタイヤを選択したのだ。しかし、これが裏目に出てしまった。降雨が強くなったことでペースが上げられなかったのだ。結局、他車とのスピード差が大きくなって危険と判断し、リタイヤを選ぶこととなった。練習走行から安定した走行を見せていたので、タイヤ選択が当たれば天候次第では上位争いをする可能性があっただけに、今野選手にとってはフラストレーションのたまるレースだった。ホンダドリームジャパンからのメカニックサポートは、残念ながらぶつつけ本番であった為、主な作業サポートまで至らなかったが、本社テクニカルセンター、世田谷からの2名が協力、チームのレース運営をサポートした。



今野由寛選手

#### ■第1戦レース結果

レース1 予選13位 決勝13位 3ポイント獲得

レース2 予選13位 決勝リタイア